

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
大豆	吸実性カメムシ類	やや少	やや少
ばれいしょ	アブラムシ類 ジャガイモガ ヨトウムシ類、オオタバコガ (防除情報第17号)	並 並 並	並 並 やや多
いちご (本圃)	うどんこ病 炭疽病( <i>G.cingulata</i> ) アブラムシ類 ハダニ類(防除情報第18号) ハスモンヨトウ	並 並 並 多 並	並 並 並 多 並
ブロッコリー	ヨトウムシ類 オオタバコガ(防除情報第17号)	前年並 やや少 (前年比)	前年並 やや多 (前年比)
レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ(防除情報第17号)	並 多	並 多
かんきつ	青かび病、緑かび病 ミカンハダニ	やや少 並	やや少 並

【発生予報】 本文の( )内は平年値

## 大豆

### 1. 吸実性カメムシ類

#### (1) 予報内容

発生程度 やや少

#### (2) 予報の根拠

ア 10月上旬の巡回調査(9筆)の結果、発生を認めなかった(寄生株率3.6%、株当たり虫数0.1頭、発生圃場率34.7%)。

イ 10月3半旬の県予察圃場(諫早市、無防除)調査の結果、寄生株率は66.0%(27.6%)、株当たり虫数は2.2頭(0.5頭)でミナミアオカメムシの寄生も認められた。

#### (3) 防除上注意すべき事項

ミナミアオカメムシは一部の薬剤で感受性の低下が報告されているので、薬剤の選定にあたっては十分注意する。

## ばれいしょ

### 1. アブラムシ類

#### (1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

10月上旬の巡回調査(20筆)の結果、寄生株率は0.0%(0.0%)、発生圃場率は10.0%(6.7%)であった。

2. ジャガイモガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

10月上旬の巡回調査(20筆)の結果、被害株率は0.4%(0.4%)、発生圃場率は5.0%(10.8%)であった。

3. ヨトウムシ類(ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ)、オオタバコガ

オオタバコガについては平成21年10月15日付病害虫発生予察防除情報第17号を参照。

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の巡回調査(20筆)の結果、被害株率は5.9%(7.4%)、発生圃場率は65.0%(46.1%)であった。

イ ハスモンヨトウのフェロモントラップ(諫早市)による誘殺量は、9月以降平年並で推移している(図)。

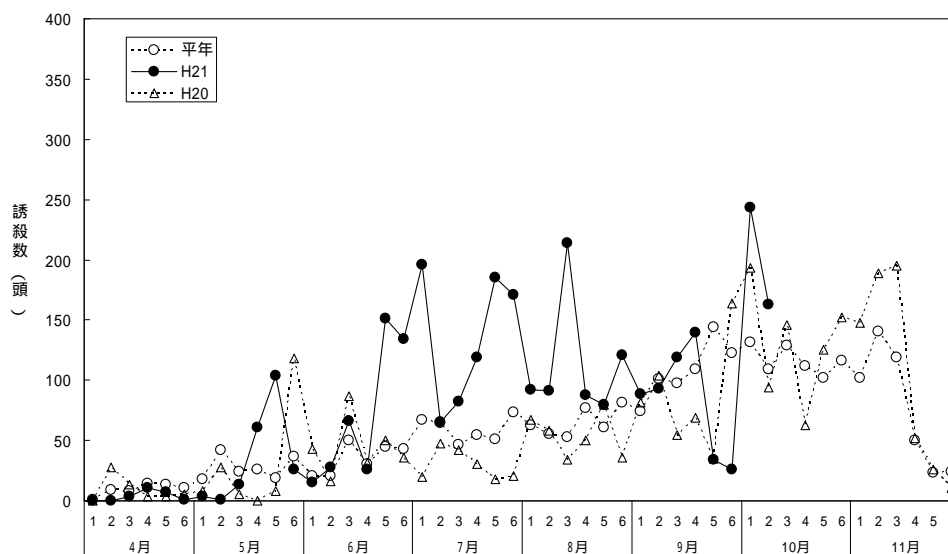


図 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況(諫早市)  
平年: H11~H20の平均値(最大・小値除く)

(月・半月)

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

10月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病株率は0.1%(0.0%)、発生圃場率は3.7%(0.0%)であった。

2. 炭疽病(*G.cingulata*)

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

10月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病株率は0.0%(0.1%)、発生圃場率は7.4%(6.1%)であった。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

10月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は2.7%(1.0%)、発生圃場率は11.1%(12.9%)であった。

4. ハダニ類

平成21年10月15日付病害虫発生予察防除情報第18号による。

5. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の巡回調査(27筆)の結果、食害株率は7.9%(10.1%)、発生圃場率は81.5%(74.5%)であった。

イ フェロモントラップ(諫早市)による誘殺量は、9月以降平年並で推移している(ばれいしょの項参照)。

**ブロッコリー**

1. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容

発生程度 前年並

(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は5.7%(前年7.3%)、発生圃場率は58.3%(前年33.3%)であった。

イ フェロモントラップ(諫早市)による誘殺量は、9月以降平年並で推移している(ばれいしょの項参照)。

2. オオタバコガ

平成21年10月15日付病害虫発生予察防除情報第17号による。

**レタス**

1. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は0.9%(0.7%)、発生圃場率は13.3%(14.7%)であった。

イ フェロモントラップ(諫早市)による誘殺量は、9月以降平年並で推移している(ばれいしょの項参照)。

2. オオタバコガ

平成21年10月15日付病害虫発生予察防除情報第17号による。

かんきつ

1. 青かび病、緑かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の巡回調査(39筆)の結果、発生は見られなかった(発病果率0.0%、発生圃場率2.6%)。

イ 向こう1か月の降水量は平年より少ない見込みである。

2. ミカンハダニ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

10月上旬の巡回調査(39筆)の結果、寄生葉率は4.5%(5.9%)、発生圃場率は33.3%(37.7%)であった。

【参考】  
気象

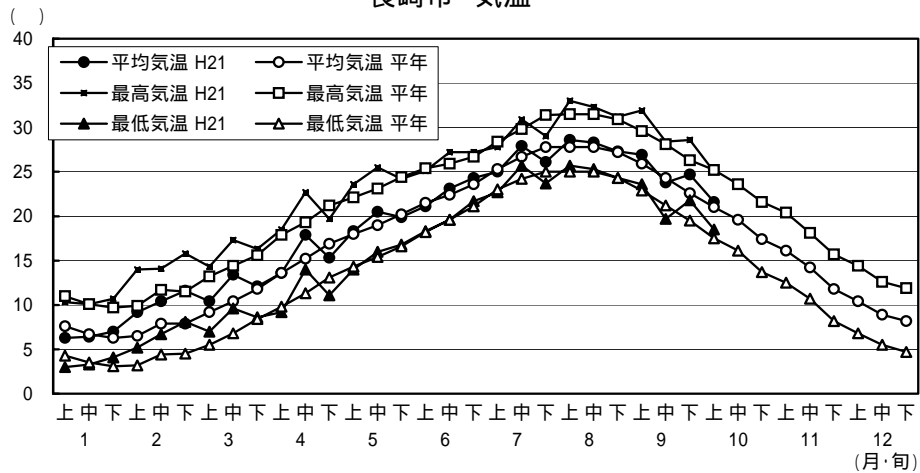
(平成21年10月9日発表 1か月予報 福岡管区気象台)  
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	40	40	20
降水量	40	30	30
日照時間	30	40	30

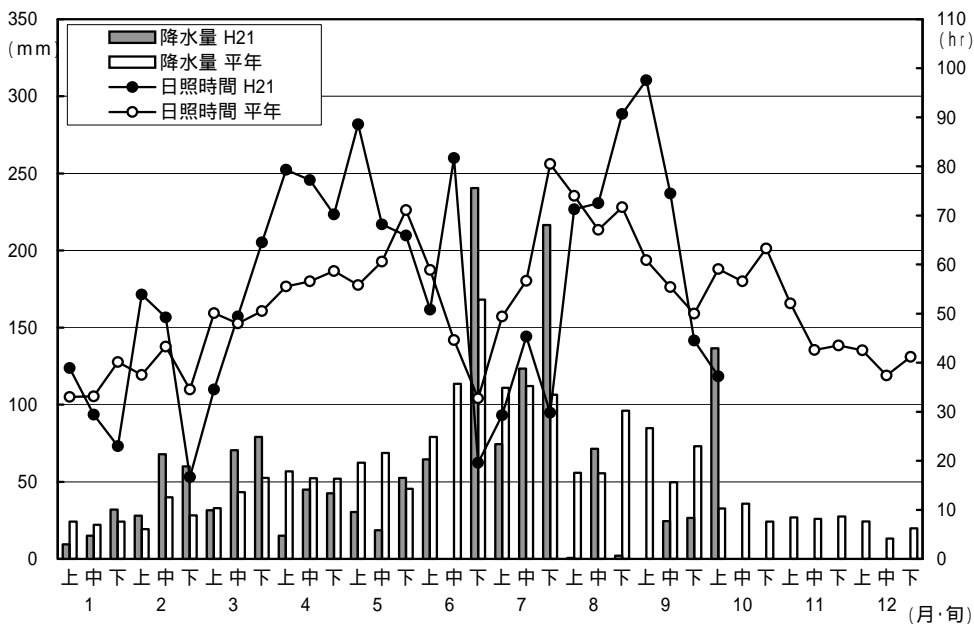
予報対象地域：九州北部地域

平成21年の気象経過(長崎海洋気象台)

長崎市 気温



長崎市 降水量と日照時間



病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027